



令和2年度 学校だより

はがきた

第2号 令和2年5月18日

教育目標

集中して学び、生命と人権を
守り、生きる力の基礎を身に
付けた子どもを育成する。
『学ぶ子 守る子 がんばる子』



1学期の早期の再開を期待して

校庭の桜の木は、新緑がまぶしい葉を付け、初夏を思わせる季節と
なってきました。始業式、入学式から約1か月がたち臨時休業が再延長
され今となっているわけですが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。
また、児童のみなさんは、規則正しい生活になっていますでしょうか。しかし、最も心配
されることは、安心して安全な生活ができているかということです。今は、新型コロナ
ウイルスに感染せずに元気でいてくれることが一番です。いろいろと心配なことがある
とは思いますが、学校でも、様々な手立てを考えていますので、お互いに連絡を密にし、
できることをやっていきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひいたします。

『二十四節気』から

前述の通り、校庭の桜の木は青々とした葉を付け、校庭で輝いています。四月下旬、
出てきたばかりの桜の葉は黄緑色で、初々しい感じの葉でした。月日がたつにつれ葉
の色は黄緑色から深い緑の色に変化してきています。遠くに見える野山も、同じよう
に、緑の色を日一日と変えています。そんな変化を見せるこの季節が大好きです。風
薫る5月とはよく言ったもので、そんな緑色の葉の香りが伝わってくるような風の中
で、児童のみなさんが笑顔で遊んでいる姿を思い描いていました。早くそういう日が
来ないかなと、心待ちにしています。



さて、『二十四節気 (にじゅうしせつき)』
ということばをご存じかと思えますが、簡
単に言うと、古代中国から伝わったもので、
春夏秋冬のそれぞれの季節をさらに6つに
分けた24の細かな季節分けのことです。
春分や夏至などがそれにあたります。同じ
ように季節を表すことばとして『雑節 (ざ
っせつ)』ということばがあります。こち
らは、節分や彼岸などです。二十四節気は、
その年によって多少日にちが前後するもの
ですが、今年の4月19日が「穀雨 (こく
う)」というものでした。穀雨は、「五穀を
潤す雨が降る」季節で、穀物の芽が伸びて

くる頃で、種まきの目安とされる時期です。つい先日の5月5日は「立夏 (りっか)」
でした。この日から季節は夏。もう、季節は夏なのです
ね。そして、5月20日には「小満 (しょうまん)」を
迎えます。陽気が良くなり、草木が成長し生い茂る季節
を意味します。今この緑の季節、田んぼに水が入り、稲
の苗に風がそよぐ、まさにこの芳賀の地を表すのにぴっ
たりのことばですね。児童のみなさんと、この季節の移
り変わりを感じてみたいと思えます。保護者の皆様も、
ぜひお子様と一緒に、ことばと季節を楽しんでみてはど
うでしょうか。



分散登校始まる

緊急事態宣言が一部緩和されたことから、芳賀町では、休業中の5月に、分散登校をすることになり、5月14日（木）から始まりました。登校日であり、クラスの半分ずつが登校、給食無しの午前中のみと、まだまだいつも通りというわけにはいきませんが、なんとか登校にこぎつけたといううれしさがこみ上げてきます。児童のみなさんの元気で明るい表情が、同じ思いなのだなと感じさせてくれました。本格的に再開できるかどうかは、教職員を含め、児童全員が感染しないことが第一の条件です。ですから、今後の感染予防が大切になります。気をゆるませることなく、3密（できれば1つの密でも起こらないように）を避ける。常に、手洗い、うがい、消毒、を心がける。不要不急の外出を避ける。など、できることを最大限に実施していきましょう。ただ、人々の動きが0になることはないので、感染のリスクは0にはなりません。感染の症状が出たときには治療に専念するだけです。本格的な再開ができるように、みんなで感染予防を徹底し、再開できるよう後押ししていきましょう。



久しぶりの登校です。
一列に並んで、元気な
あいさつができました。



児童のみなさんも先生方も
表情がうれしそうです。

机と机の間は距離を取って密にならないように。
ソーシャルディスタンス！ です。



遊ぶときだって距離を
とります。
久しぶりに遊べて
とても楽しそうです。

遊んだ後はよ〜く
手洗いをします。
教室に入るときには消毒
もします。

